

第72期

フジテック株式会社

中間報告書

2018年4月1日～2018年9月30日

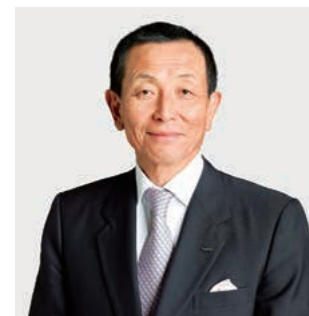
投資家の皆様へ.....	1
連結決算情報.....	3
活動概況.....	5
TOPICS.....	7
ワークギャラリー.....	8
企業データ/株式の状況.....	9
株式についてのご案内/軽減税率廃止に関するご案内...	10



中期経営計画

“No Limits! Push Forward Together!”

最終年度の計画達成を目指します



代表取締役社長
内山 高一

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃より当社事業へのご理解と共に、厚いご支援を賜り、心より感謝いたします。第72期中間期(2018年4月1日～9月30日)の当社を取り巻く事業環境、業績と今後の施策と配当につきましてご報告いたします。

厳しい市場環境の中国

世界経済が米中貿易摩擦の影響などから、先行き不透明感が強まる中、昇降機業界におきます事業環境は全般的に堅調でした。米国では、好調な経済状況から需要は底堅く推移しました。一方、中国市場は、堅調な内需に支えられ、安定した経済成長が続くものの、昇降機市場は低価格帯中心の市場環境となり、厳しい価格競争が継続しました。

南アジア市場は、インドが昨年施行された物品・サービス税の導入や、不動産取引に関する法律の施行による景気の停滞から回復し、堅調な市場環境となったほか、その他各国も緩やかな景気回復から需要は底堅く推移しました。

日本におきましては、雇用情勢と企業収益の改善により景気が回復基調で推移する中、ホテルや事務所向けの需要が堅調に推移しました。

北米と南アジアが増益

このような市場環境の下、当社におきます2019年3月期第2四半期連結累計期間の業績は、前年同四半期に比べて減収減益となりました。売上高は前年同四半期比4.8%減の774億8,200万円、営業利益は同22.8%減の41億4,300万円でした。経常利益は同20.7%減の49億6,100万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同13.1%減の39億3,500万円となりました。

各セグメント別の状況ですが、東アジアは新設工事の減少に加え、中国での販売単価下落、韓国の輸出採算の低下から減収減益でした。北米は新設工事が減少した一方、工事採算の向上から減収増益となりました。南アジアはアフターマーケットビジネスが好調に推移したことにより増収増益でした。欧州は前期のドイツ子会社売却により減収減益。日本は、新

設事業・アフターマーケットビジネスとも増加した一方、人件費など固定費の増加もあり、増収減益となりました。

強みを再認識し事業展開を加速

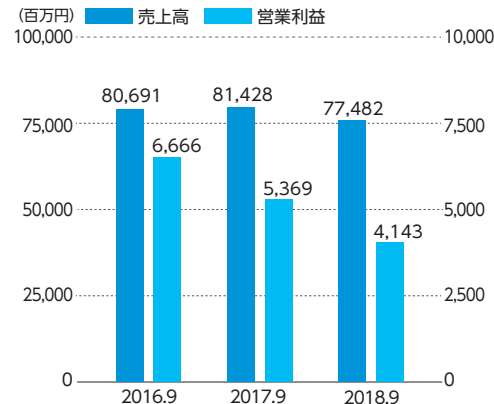
中期経営計画“**No Limits! Push Forward Together!**”は残すところあと数ヵ月となりました。最終年度の計画値は売上高1,700億円、営業利益103億円です。この目標を確実に達成し、良い形で次の中期経営計画につなげます。

当社にはこれまで培ってきた「業界に先駆けたグローバル展開」、「**専門メーカーとしての一貫体制**」といった独自の強みがあります。当社の強みを再認識し、これらの強みを活かした事業展開を加速させてまいります。

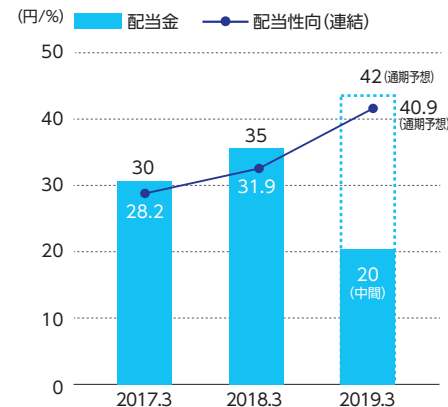
株主の皆様へ

中間期におきます1株当たりの配当金につきましては、期中計画通り前年同期比5円増配の20円とさせていただきます。また、期末配当金につきましては、2円増配の22円を予定しております。フジテック・グループ全社を挙げて、目標の達成に向けて邁進してまいりますので、引き続きのご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

売上高・営業利益の推移



1株当たりの配当金と配当性向(連結)の推移



Cover Story 渋谷ストリーム 東京都渋谷区

旧東急東横線渋谷駅のホームおよび線路の跡地等を利用した地下4階、地上35階建ての大規模複合施設“渋谷ストリーム”。店舗、ホテル、ホール

のほか渋谷エリア最大級の賃貸面積を誇るオフィスで構成されています。ここでは、分速360mの高速機種を含むエレベータ14台が稼働しています。

連結決算情報

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2018年3月31日現在	2018年9月30日現在
資産の部		
流動資産	127,530	125,401
固定資産	54,972	53,948
有形固定資産	34,388	34,215
無形固定資産	4,029	3,782
投資その他の資産	16,553	15,950
資産合計	182,503	179,350
負債の部		
流動負債	66,821	63,243
固定負債	3,859	4,638
負債合計	70,681	67,881
純資産の部		
株主資本	106,401	108,793
その他の包括利益累計額	△ 6,036	△ 8,348
新株予約権	61	61
非支配株主持分	11,396	10,962
純資産合計	111,822	111,468
負債・純資産合計	182,503	179,350

ポイント 1 資産合計

資産合計は、前連結会計年度末比31億5,300万円減少しました。これは主に「商品及び製品」が同13億3,700万円増加した一方、「受取手形及び売掛金」が同42億7,900万円減少したことによるものです。

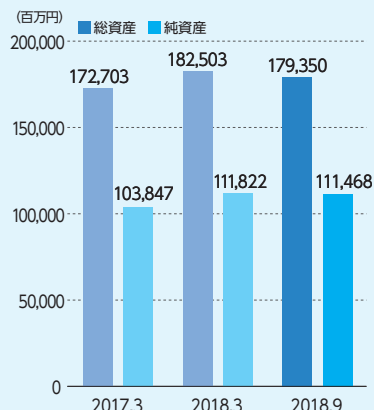
ポイント 2 流動負債

流動負債は、前連結会計年度末比35億7,800万円減少しました。これは「前受金」が同12億4,100万円増加した一方、「支払手形及び買掛金」が同16億7,800万円、「短期借入金」が同16億2,800万円減少したことによるものです。

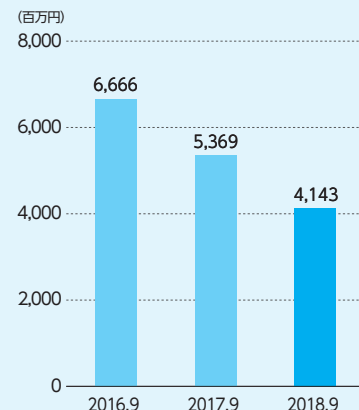
ポイント 3 株主資本合計

株主資本合計は、前連結会計年度末比23億9,200万円増加しました。これは主に期末配当金の支払い等で「利益剰余金」が同19億5,900万円減少した一方、「自己株式」が同43億5,100万円減少したことによるものです。

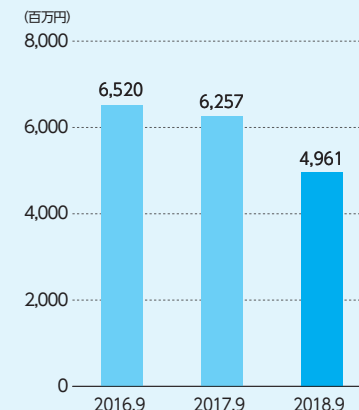
総資産・純資産



営業利益



経常利益



(注)「[税効果会計に係る会計基準]の一部改正」(企業会計基準第28号平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しています。

連結損益計算書

(単位：百万円)

	2018年3月期 第2四半期 (2017年4月1日～ 2017年9月30日)	2019年3月期 第2四半期 (2018年4月1日～ 2018年9月30日)
売上高	81,428	77,482
売上原価	64,371	60,869
売上総利益	17,056	16,613
販売費及び一般管理費	11,686	12,469
営業利益	5,369	4,143
営業外収益	983	978
営業外費用	95	159
経常利益	6,257	4,961
特別利益	5	718
特別損失	14	195
税金等調整前四半期純利益	6,248	5,484
法人税、住民税及び事業税	1,284	1,135
法人税等調整額	45	166
四半期純利益	4,918	4,182
非支配株主に帰属する四半期純利益	390	246
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,527	3,935

ポイント 1 売上高

売上高は、前年同四半期比39億4,600万円減少しました。これは、日本、南アジアが増収となった一方、北米、東アジアが減収となったことによるものです。

ポイント 2 営業利益

営業利益は、前年同四半期比12億2,600万円減少しました。これは主に日本が同6億900万円、東アジアが同8億1,000万円減少したことによるものです。

ポイント 3 親会社株主に帰属する四半期純利益

親会社株主に帰属する四半期純利益は、営業利益の減少により前年同四半期比5億9,200万円減少しました。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	2018年3月期 第2四半期 (2017年4月1日～ 2017年9月30日)	2019年3月期 第2四半期 (2018年4月1日～ 2018年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,397	4,659
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 610	279
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,444	△ 3,542
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 400	△ 690
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,942	706
現金及び現金同等物の期首残高	20,910	24,043
現金及び現金同等物の四半期末残高	24,852	24,750

ポイント キャッシュ・フロー

フリーキャッシュ・フローは、前年同四半期比28億4,800万円減少し、49億3,900万円となりました。これは、営業活動によるキャッシュ・フローが同37億3,800万円の収入減に対し、投資活動によるキャッシュ・フローが同8億9,000万円の支出減となったことによるものです。

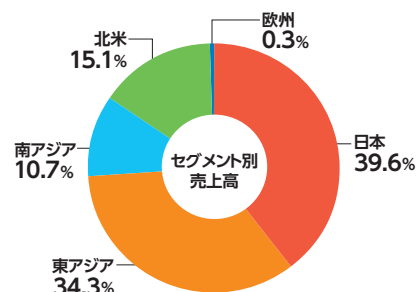
▶▶▶ 詳細は HP をご覧下さい。 [フジテック IR](http://www.fujitec.co.jp/ir) [検索](#)

<http://www.fujitec.co.jp/ir>

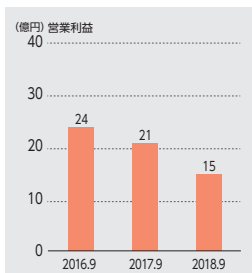
活動概況

世界各地に安全で安心な 社会インフラをお届けします

昇降機は高層化する都市と高齢化社会にとって、欠くことのできない社会インフラです。フジテックは利用者の方々が、安全に安心してご利用できる商品をお届けしています。



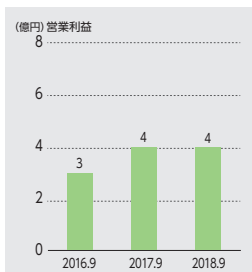
●日本



ザ・リッツ・カールトン
日光(栃木)

	所在地	納入先	概要
受注物件	栃木県・日光市	ザ・リッツ・カールトン日光	ラグジュアリーホテル向けエレベータ7台
	静岡県・沼津市	(仮称)三井ショッピングパークららぽーと沼津	静岡県東部エリアの大規模商業施設向けエレベータ・エスカレータ 計39台
	愛知県・常滑市	中部国際空港新旅客ターミナルビル新築工事	空港ターミナルビル向けエレベータ12台
完成物件	東京都	大手町プレイス	東京メトロ大手町駅直結のオフィス・商業施設から成る2棟の複合ビル向けエレベータ・エスカレータ 計63台を納入
	北海道・札幌市	さっぽろ創世スクエア	札幌の代表的な観光スポットが集中する地区の商業施設向けエレベータ19台を納入

●北南米



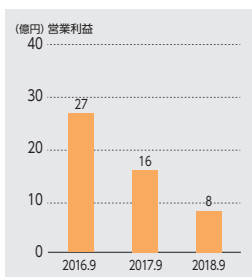
※数字は北米のみ



ワン・ウエスト・エンド
(米国)

	所在地	納入先	概要
受注物件	カナダ・ブリティッシュコロンビア州	バンクーバー国際空港拡張工事	空港ターミナルビル向けエレベータ・エスカレータ・オートウォーク 計22台
完成物件	米国・ニューヨーク州	ワン・ウエスト・エンド	ニューヨーク市の地上41階建の住宅施設向けエレベータ15台を納入
	アルゼンチン・ブエノスアイレス	ブエノスアイレス地下鉄E線	ブエノスアイレス市の地下鉄駅向けエレベータ25台を納入

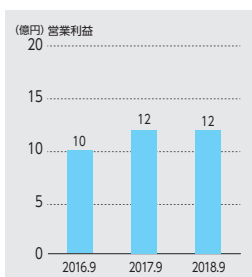
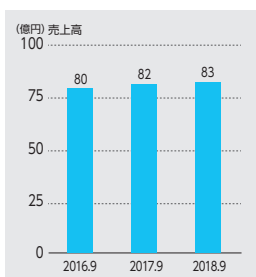
● 東アジア



香港児童病院 (香港)

	所在地	納入先	概要
受注物件	香港	觀塘市中心再開発	觀塘地区の商業施設向けエスカレータ21台
	中国・河北省	石家荘市地下鉄1号線	石家荘市の地下鉄駅向けエレベータ・エスカレータ 計88台
完成物件	香港	香港児童病院	啓徳空港跡地に建設された病院施設向けにエレベータ・エスカレータ 計48台を納入

● 南アジア



チャウ・キット・トレードセンター (マレーシア)

	所在地	納入先	概要
受注物件	マレーシア・クアラルンプール	チャウ・キット・トレードセンター	クアラルンプール市の商業施設向けエレベータ・エスカレータ 計20台
完成物件	マレーシア・セランゴール州	ビジ・リビング	プタリン・ジャヤ市の商業施設・住宅施設から成る複合施設向けにエレベータ・エスカレータ・オートウォーク 計16台を納入

● 欧州・中東

	所在地	納入先	概要
受注物件	UAE・ドバイ	アル・バルシャ	住宅施設、商業施設から成る複合施設向けエレベータ10台
	サウジアラビア・メッカ	アジア・ホテル・メッカ	高層ラグジュアリーホテル向けエレベータ10台



アル・バルシャ (UAE)

※売上高のグラフ数値は、調整前の数字です

●クラシックコンサートに協賛

2018年5月、全国6都市・7公演で開催されたコンサート「ヴァシリー・ペトレンコ指揮 ロイヤル・リヴァプール・フィルハーモニー管弦楽団 辻井伸行(ピアノ) 三浦文彰(ヴァイオリン)」に特別協賛しました。

当社は文化芸術活動の支援を目的に2014年から辻井伸行氏らのコンサート協賛を始め、今回で4回目となります。ヴァシリー・ペトレンコ氏はロイヤル・リヴァプール・フィルハーモニー管弦楽団と2度目の来日公演となり、チャイコスフキーの交響曲第4番などの人気曲を披露したほか、若手ソリストとして



辻井伸行氏

人気の辻井伸行氏や三浦文彰氏と共演し、会場を魅了しました。



三浦文彰氏

当社は今後も音楽活動をはじめとする、文化芸術活動を支援していきます。



指揮のヴァシリー・ペトレンコ氏とロイヤル・リヴァプール・フィルハーモニー管弦楽団

●中国で「新雪国プロジェクト」を受注

中国の河北省 ちょうかこう 張家口に建設される「新雪国プロジェクト」のエレベータを当社グループの「華昇富士達電梯有限公司」が受注しました。エレベータは分速720m、エレベータが通る昇降行程は638mとなり、完成すれば世界最長となります。安全で安心な商品を納入するために、当社は全力で取り組みます。



●東京本社でオープンハウス開催

4月に事務所移転した東京本社で6月9日、社員とその家族を対象にした記念イベント「オープンハウス」を開催しました。来場者らはマジックやバルーンアートなどのアトラクションを楽しみました。



ワークギャラリー

さまざまな顔を持つ複合施設、世界各地のホテルなど、アートな空間と融合する当社のエレベータとエスカレータを、ギャラリー形式で紹介します。

大手町プレイス

東京都千代田区

大手町プレイスは大手町最大級となる2棟のオフィスビルです。東京国際郵便局および通信ビルの跡地に2015年から建設が進められ、2018年8月に竣工しました。ここにフジテックのエレベータ32台、エスカレータ31台、計63台を納入しています。



企業データ (2018年9月30日現在)

■会社の概況

創業 1948年2月9日
 資本金 125億3,393万円

■役員

取締役	代表取締役社長 取締役	内岡 加	山田 藤	高隆 義	一夫 史
		岡 加	藤 野	義 隆	道 樹
		浅 野	伯 田	隆 照	茂 男
		佐 杉	山 添	伸 治	賢 正
		杉 山	井 上	賢 正	辰 高
		井 石	川 野	治 賢	隆 義
		中 池	田 山	治 賢	隆 義
		内 岡	田 藤	治 賢	隆 義
		加 浅	野 山	治 賢	隆 義
		津 奥	山 田	治 賢	隆 義
		宇 原	宮 靖	治 賢	隆 義
		土 友	内 丸	治 賢	隆 義
		内 丸	山 山	治 賢	隆 義
		丸 筒	井 木	治 賢	隆 義
		荒 木	村 山	治 賢	隆 義
		中 栴	安 達	治 賢	隆 義
		安 中	尾 尾	治 賢	隆 義

*は取締役を兼務しています。

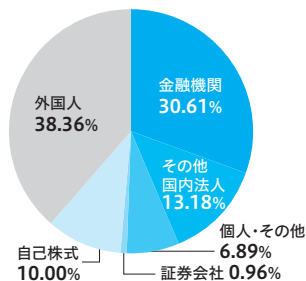
■フジテック・グループ

日本	本社ビッグウイング	滋賀県彦根市宮田町591番地1 TEL(0749)30-7111 東京都港区白金1丁目17-3 TEL(03)4330-8200
	東京本社	
北米	アメリカ カナダ グアム	FUJITEC AMERICA, INC. FUJITEC CANADA, INC. FUJITEC PACIFIC, INC.
南米	ベネズエラ アルゼンチン ウルグアイ	FUJITEC VENEZUELA C.A. FUJITEC ARGENTINA S.A. FUJITEC URUGUAY S.A.
東アジア	香港 台湾 韓国 中国	FUJITEC (HK) CO., LTD. 富士達股份有限公司 FUJITEC KOREA CO., LTD. 華昇富士達電梯有限公司/上海華昇富士達扶梯有限公司/富士達電梯配件(上海)有限公司/上海富士達電梯研有限公司/上海泰及商貿有限公司
南アジア	シンガポール フィリピン マレーシア インドネシア インド ベトナム タイ スリランカ ミャンマー	FUJITEC SINGAPORE CORPN. LTD. FUJITEC, INC. FUJITEC (MALAYSIA) SDN. BHD. P.T. FUJITEC INDONESIA FUJITEC INDIA PRIVATE LTD. FUJITEC VIETNAM CO., LTD. FUJITEC (THAILAND) CO., LTD. FUJITEC LANKA (PRIVATE) LTD. FUJITEC MYANMAR CO., LTD.
欧州・中東	イギリス サウジアラビア エジプト アラブ首長国連邦	FUJITEC UK LTD. FUJITEC SAUDI ARABIA CO., LTD. FUJITEC EGYPT CO., LTD. FUJITEC CO., LTD. UAE (DUBAI) OFFICE

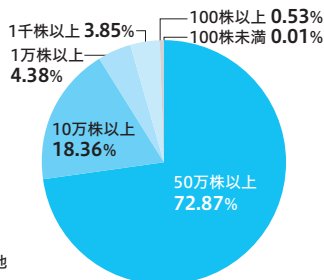
株式の状況 (2018年9月30日現在)

発行済株式の総数	株主数	上場証券取引所
90,067,000株	4,358名	東京証券取引所

■所有者分布状況



■所有株数別分布状況



■大株主一覧

株主名	持株数(百株)	持株比率(%)
1. SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	68,730	8.48
2. 株式会社ウチヤマ・インターナショナル	50,439	6.22
3. 株式会社りそな銀行	40,516	5.00
4. ジービー モルガン チェース バンク 385632	36,923	4.56
5. 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	34,169	4.22
6. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	31,739	3.92
7. プリティッシュ エンパイア トラストピーエルシー	21,649	2.67
8. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	20,345	2.51
9. 株式会社みずほ銀行	19,892	2.45
10. INVERISIS / IICS JAPAN	19,822	2.45

(注1) 持株比率は2018年9月30日現在の発行済株式総数である90,067,000株から自己株式9,006,741株を除いた81,060,259株を基準に計算しています。

(注2) 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)には、従業員持株会支援信託ESOP283,400株が含まれています。

(注3) 当社は自己株式9,006,741株を所有しておりますが、上記の大株主(上位10名)の中には含まれていません。

株式についてのご案内

- 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月
- 基準日 定時株主総会・期末配当：毎年3月31日 中間配当：毎年9月30日
- 公告方法 電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告によることができない場合の公告方法は、日本経済新聞に掲載することといたします。
ホームページアドレス：<http://www.fujitec.co.jp/koukoku>
- 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関
東京都千代田区丸の内1丁目4-1 三井住友信託銀行株式会社
- 郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8-4 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
- 電話照会先 電話 0120-782-031(フリーダイヤル)

軽減税率廃止に関するご案内

2014年1月1日から上場株式等の配当等に係る10%軽減税率(所得税7%・住民税3%)は廃止され、本来の税率20%(所得税15%・住民税5%)になりました。「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」の施行に伴い、2013年1月1日から2037年12月31日までの間に支払われる配当金につきましては、その所得税額に2.1%を乗じた額が「復興特別所得税」として追加課税されています。

個人株主様への配当金に対する源泉徴収税率

	所得税	復興特別所得税	住民税	合計
2014年1月1日～2037年12月31日	15%	0.315%*	5%	20.315%
2038年1月1日～	15%	—	5%	20%

※15%×復興特別所得税率2.1%=0.315%

● 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座を開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

● 未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

● 「配当金計算書」について

配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。

確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。

確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社等にご確認をお願いします。

なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当金のお支払いの都度、「配当金計算書」を同封させていただいております。

※確定申告をなされる株主様は大切に保管ください。

エレベータ・エスカレータの安全なご利用のために

●地震の時はエレベータを利用しないでください

地震や火災時には、エレベータを利用しないでください。停電や機器の故障でかごの中に閉じ込められ、二次災害の発生するおそれがあります。万一、エレベータに乗っている時に地震が発生した場合は、操作盤の行先階ボタンをすべて押し、最初に停止した階ですぐに降りて避難してください。



●エスカレータは歩かないでください

エスカレータの上を歩いたり、走ったりしないでください。転倒したり、ほかの利用者へぶつかるおそれがあり危険です。黄色い線の内側に立ち、ハンドレールをしっかりとつかんでください。また、安全のため前方の利用者から間隔をあけて利用してください。



小学生向けの安全教室を行っています

エレベータ・エスカレータの事故を撲滅するため、小学生を対象に、安全啓発活動に取り組んでいます。滋賀県彦根市の本社(ビッグウイング)と東京本社の近隣小学校向けに2013年からスタートし、恒例の課外授業「安全教室」として定着しています。

プログラムでは、当社マスコットキャラクター「テッキー」がアニメーションで、エレベータ・エスカレータの安全な乗り方や注意ポイントを分かりやすく紹介します。子どもたちがより“安全・安心”にエレベータ・エスカレータを利用できるよう、今後も安全啓発活動を進めていきます。

